

害虫発生予察指導情報  
(ブロッコリー黒すす病 No. 2)

令和元年9月30日  
鳥取県病虫害防除所

1 情報の内容

9月25日現在、ブロッコリー黒すす病の発生がみられています。今後の気象条件によっては発病が急増するおそれがありますので、ほ場の観察を徹底し、計画的な防除を行いましょう。

2 情報の根拠

- (1) 9月25日現在、ブロッコリー黒すす病の発生ほ場率は42.9% (前年：14.3%、H27～30平均：46.3%)、平均発病度は0.6 (前年：0.4、H27～30平均：2.7) と前年よりやや多く、例年並の発生量である。

\*9月25日に巡回調査を実施。中部3ほ場、西部4ほ場の計7ほ場、25株/ほ場の見取り調査。

- (2) 本病は、25℃付近が発病適温で、降雨と強風により発病が助長される。台風18号が発生していること及び向こう1か月の気象予報から、本病の発生量はやや多いと予想される。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 葉の病斑は、花蕾への伝染源となるため、ほ場の観察を行い、発病が認められる場合は、出蕾前防除を徹底する。
- (2) 薬剤はアミスター20フロアブル、アフェットフロアブル、シグナムWDG、パレード20フロアブル等を使用する。また、薬剤耐性菌対策のため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。